



声のラン

声①

火災警報器の設置が義務付けられたと聞き、我が家も警報器を取り付けています。本当に役立つのでしょうか？
設置したことで火災を防ぐことができた事例などをぜひ紹介してください。

答①

市は、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置を義務付けています。

火災警報器があれば、万一火災が発生したときに音で知らせるため、いち早く初期消火を行うことができます。また、逃げ遅れによる死傷者の発生を防ぐことができます。市内で実際に発生した、火災警報器が役立つ事例を紹介します。

【事例1】

近所で火災警報器の鳴る音が聞こえたため家の外に出たところ、隣の家から焦げたにおいがしたので、119番通報をしました。

出動した消防隊がにおいのする家の中に入ると、室内には煙が充満し、台所と寝室の警報器が作動していました。

この家の住人はカセットコンロで鍋料理をつくっていましたが、お酒をのんでいたこともあって、火をつけたまま寝てしまったそうです。

近隣の方が音に気がついたことなどが幸いして、火災を防ぐことができました。

【事例2】

家のガスコンロで魚を焼い

家庭用の火災警報器は本当に役立つの？

ていきましたが、焼き上がるまで時間がかかるため、この家の住人は、目を離して別の部屋にいました。

その間、コンロは加熱し、火が流し台や壁に移っていました。

火災警報器が作動し、ピーピーという音で家の住人が気づいたときには、台所と居間の天井に煙と熱が充満し、ガスコンロの周辺から炎が上がっていたそうです。

水をかけても消火できなかったため119番通報し、住人は避難しました。

早期に火災を発見したことで被害を最小限に抑えることができ、住人はケガをすることなく避難できました。

皆さんの住宅にも必ず火災警報器を設置しましょう。

消防本部予防課予防係
☎(23)0420内線242



【ワンポイントメモ】

火災警報器は殺虫剤や魚などを焼いたときの煙、ほこりなどを感知して誤って作動することがあります。誤作動したときは落ち着いて対処しましょう。

【対処方法】

- 警報器にひもがついているものは、ひもを引くと警報音が止まります。
 - ボタン式の警報器は、ボタンを押すと警報音が止まります。
- ※家庭についている警報器がどちらのタイプか、事前に確認しておきましょう。
※煙などで誤作動したときは、換気扇をまわすか窓を開けるなどして必ず部屋を換気しましょう。

《40歳代女性》

案内

「声のラン」では、おもに「市長への手紙・ポスト」や「広報広聴モニター」の声と、その答えをご紹介します。そのほか皆さんからの一般的な質問などもご紹介しますので、普段から疑問に思っていることなどを、お手紙などでお寄せください。ただし、ほかの市民にも参考になる内容を採用させていただくため、個人的なことなどを掲載することはできません。また、質問の内容を確認する必要上、お手紙には必ず連絡先と名前をご記入ください。【〒066-8636 / 千歳市東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課 宛】